

令和5年度 第2回 鏡野町立中学校部活動地域連携検討委員会（概要）

日時 令和5年11月21日（火）

18:30～20:30

1 中学校からの現状報告

中学校から、生徒数の減少に伴う教員数の減少が予想されることに対して、町内の小学校高学年の児童・保護者にアンケートをとったことやその結果が報告された。また、中学校では今後の部活動について校内研修を持って話し合いをしていることも伝えられた。

2 地域における受け皿の候補について

第3回検討委員会を受けて、スポーツ少年団やスポーツ協会、文化協会から伺った「受け皿」の意向について事務局が報告した。「活動のための経費はどうか」、「中学生と一緒に活動はできるかもしれないが、指導となると不安である」といった質問や意見が多く出されていた。不安な気持ちや様々な想定される課題はあるが、多くのスポーツ団体、文化団体が前向きに考えていただいた様子が交流できた。

3 今後の取組について

事務局からの報告を受け、今後の取組について意見を交換した。「課題は運営資金と指導者の確保ではないだろうか」といった意見や、「なんとか現在の部活動を継続していただけないものだろうか」という意見等、様々な視点から発言があった。現状を一気に改善する方策はなく、地域移行を進めるにしても、当面は各部に部活動指導員を配置する方向を探りながら進めていきたいという意見もあった。

そうした中、少しずつでも前に向かって取り組んでいくためにも何かできないだろうかという発言に対して、スポーツ少年団ソフトボール部の指導者の方から地域移行を見据えた具体的な提言をいただいていることを協議した。今後の取組を進める上で、課題を洗い出すために、地域連携・地域移行のモデルケースとして実際活動を行ってみることを了承し、学校、スポーツ少年団指導者、事務局で打ち合わせをしていくことにした。